

第 3 問

都市に住む人々の生活は、それ以外の土地に住む人々と異なる特色を持つことが多い。従って、新たな文明や文化が都市を拠点に発達したり、他地域の文化を都市が先がけて吸収するといったことが歴史上しばしばみられる。都市と文明に関連する以下の設問(1)~(10)に答えなさい。解答は、解答欄(ハ)を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)~(10)の番号を付して記しなさい。

問(1) 中国では戦国時代に生産物の流通と貨幣経済が急速に発展した。その過程で一部の邑は都市として大規模に発達し、経済はもちろん、文化や学芸の中心としても大きな役割を担った。なかでも臨淄は諸子百家で賑わったが、この都市を都とする戦国時代の諸侯国の名称(a)と、兼愛を説いた諸子百家の名称(b)を、冒頭に(a)・(b)を付して記しなさい。

問(2) 古代ギリシア世界は都市国家が分立するという形態を取り、強力な統一王朝が出現するのはマケドニアの台頭を待たねばならなかったが、それ以前から諸ポリスの間にはギリシア人としての同族意識が自覚されていた。アテネの台頭以降、ローマ時代に至るまで、東地中海一帯の共通言語として用いられた標準ギリシア語の名称を記しなさい。

問(3) 中国王朝の都は長らく華北の長安や洛陽に置かれ、そこが中華文明の心臓部としての役割を担った。しかし、農業が江南で発展していくと、経済や文化の中心は移動していき、都も江南との経済上の結節点付近に置かれることになった。この結節点付近の都市を都として、10世紀後半に成立した王朝の名称を記しなさい。

問(4) イスラーム教はその発展過程において、都市と商人を基盤として拡大したといわれる。都市と都市を結ぶ隊商貿易に従事する商人のために整備された隊商宿の名称(a)と、各都市における学芸・教育活動の拠点として設けられた高等教育機関の名称(b)を、冒頭に(a)・(b)を付して記しなさい。